

# 「文化、芸術、教育活動に関する試験研究論叢」執筆要領

## 1. 原稿・ワープロソフト入力および原稿枚数

原稿執筆には、原則としてワープロソフトを用い、A4判の用紙に縦書きする。

1行の文字数は56字、1ページあたりの行数は21行とする。原稿枚数は20枚以内(厳守)とする。

## 2. 表題

原稿第1ページに、表題(研究助成申請書に記載したもの)、所属(機関・部局)、報告者名(助成者名のみ)を記す。

## 3. 本文

1) 原稿の構成は原則として日本語で執筆する。文章は現代仮名遣い、常用漢字の使用を基本とする。ただし、固有名詞など常用漢字に依りがたい場合はこの限りではない。人名には、敬語、敬称は用いないこととする。

2) 句読点には、読点(、)と句点(。)を用いる。コンマ(,)とピリオド(.)は用いないことに注意。

3) 本文に章節等を設ける場合は、以下に統一する。

章 一、二、三……

節 (一)、(二)、(三)……

項 1、2、3……

目 (1)、(2)、(3)……

章や節の見出しは簡潔にする。章の場合は、前文と行との間に1行あけて見出しを書き、改行して本文を書き出す。

4) 数字は原則として漢数字を用い、万の位以上は単位語を入れる。

(例) 一〇万八二〇〇円

わたりのある数字は次のように記し、数字の省略はしない。

(例) 八五〇～九六〇

分数、百分率、小数点は次のように記す。

(例) 三分の一、八八・五パーセント

年号は原則として西暦を用いる。ただし、元号は必要に応じて使用する。年・月日・時間・年齢は次のように記す。

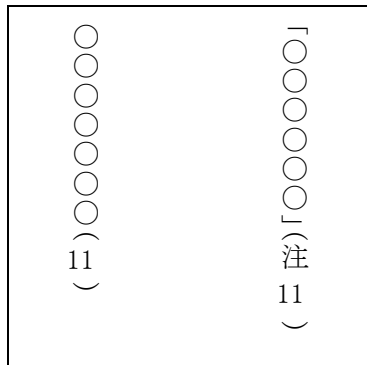
(例) 一九八〇年、万延元(一八六〇)年二月二十八日

一〇時二十五分、五十八歳

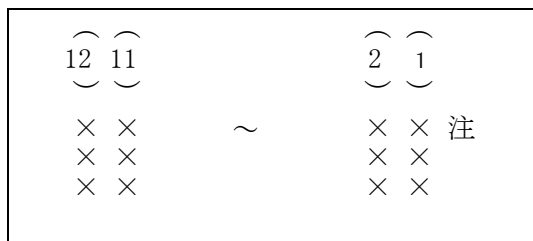
## 4. 注および引用文献

1) 引用は「 」によって示す。ただし、引用が長文におよぶ場合には、本文より一字分下げて記述する。

2) 注や引用文献は、本文の当該個所にアラビア数字の通し番号を記す。記載個所は句読点の前とし、記載方法は以下とする。



3) 注は本文末尾に（注）として通し番号にまとめて記載する。



4) 引用文献は、本文末尾(注の後)に、(引用文献)として通し番号順にまとめて掲げる。

引用文献の記載は、原則として次の通りとする。

【単行本の場合】(通し番号) 著者名『書名』、ページ、発行所、発行都市名(発行年)

【雑誌の場合】(通し番号) 著者名「論文名」、「掲載雑誌名」、巻数、ページ、発行所(発行年)

<p>引用文献</p> <p>(1) 天野郁夫『試験の社会史』、一〇一二八頁、東京大学出版会、東京(一九九三)</p> <p>(2) 柴田奈美「郷土の俳人赤木格堂の研究」、『研究論叢』第十五集、三三一四九、 両備櫻園記念財団(二〇〇二)</p> <p>(3) 安藤孝敏・世古順彦「人間科学研究」四巻、一五九一一六五(一九九一)</p> <p>(4) Dewey J, Experience and Nature, pp 15-16, Dower Publ, New York (1958)</p>
--

なお、著者名は姓・名ともに全員を列記し、「他」「et al.」を使用しない。

欧文の論文、単行本の場合は、著者名のイニシャルと雑誌名の略記にピリオドを用いない。

## 5. 図表

1) **表はそれだけ別紙に作成し**(文字は原則として9ポイント明朝体)、簡潔な標題と必要な説明(日本語)は、本文末にまとめて表記する。表1枚の刷り上がり大きさは、標題と説明を含めて原

則として13cm(横)×20cm(縦)以内とする。

- 2) 図面原稿は、それだけ本文とは別紙に、刷り上がりの大きさの1.5～2倍(但し、最大A4サイズまで)で描く。図には必ず簡潔な標題(日本語)と必要な説明(日本語)をつけて本文末にまとめて表記する。図1枚の刷り上がり大きさは、標題と説明を含めて原則として13cm(横)×20cm(縦)以内とする。
- 3) 写真(印画紙に焼きつけたもの)は図に準じて取り扱う。写真はカラー原稿であっても白黒写真として掲載される。
- 4) 写真や小さな図はA4判の台紙に軽く貼りつけて、上方向がわかるように矢印と文字「上」で指示する。
- 5) 囲および表の表示は、図1、図2……、表1、表2……の例に従う。本文中にこれらを挿入する箇所を、原稿用紙の余白に示す。
- 6) 図、表、写真はすべてスキャナーで読み込むので、鮮明かつわかりやすい内容に作成する。

#### 6. 原稿の提出

原稿には、必ずCD等の記録媒体を添付する。CD等の記録媒体のラベルに氏名、タイトル、ワープロソフト名を記す。また、MS-DOSテキストファイルに変換したファイルも添付する。

**原稿の提出期限は、受賞の翌年9月末日とする(厳守)。**

#### 7. 著者校正

著者校正を1回行う。その際、誤植以外の修正、図版の修正は原則として認められない。校正刷りは到着後2日以内に返送すること。

#### 8. 別刷

別刷は50部まで希望があれば無料で進呈する。50部以上の部数については有料で、50部単位で添付の申込書により申し込むこと。